

地域中核病院(急性期病院)の 機能評価係数に関する考察

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院
院長補佐 宮田 和信

相澤病院概要

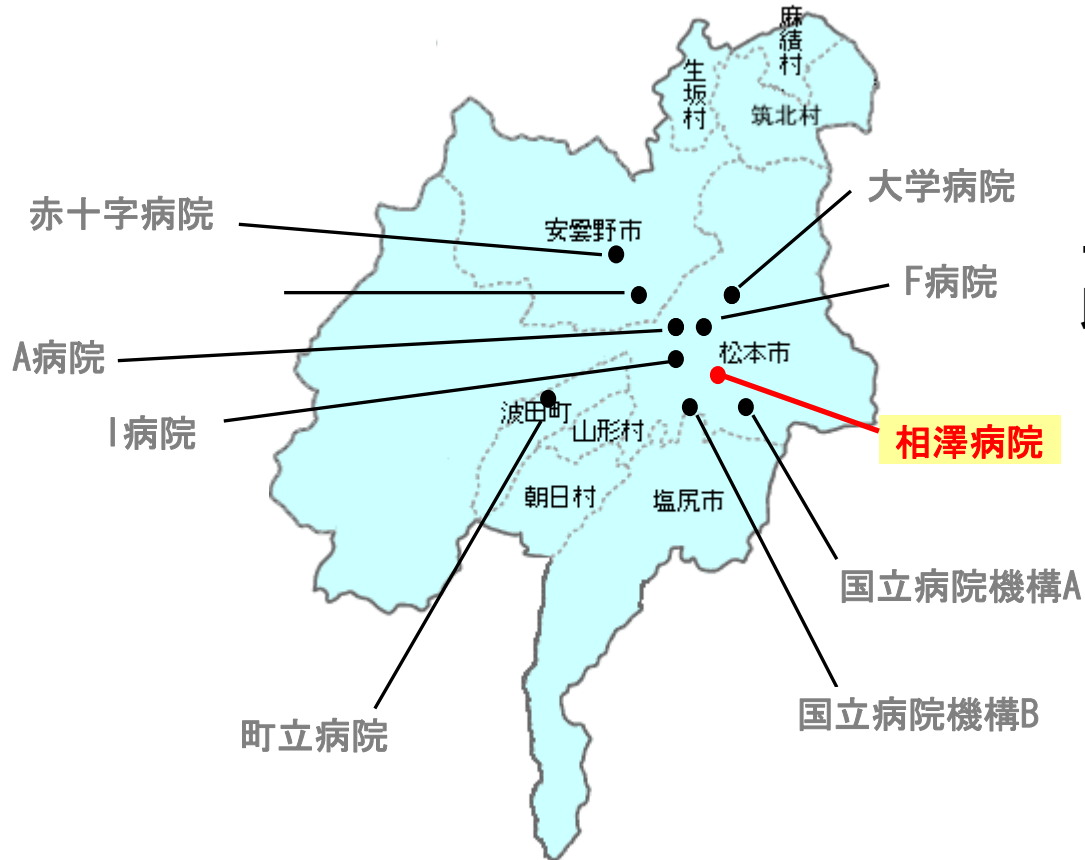
1. 地域医療支援病院
2. 救命救急センター保有病院
3. 地域がん診療連携拠点病院
4. DPC対象病院
5. 7:1看護体制
6. 電子カルテ・電子レセプト導入
7. 臨床研修評価認定病院
8. 外国医師臨床修練指定病院
9. 日本医療機能評価機構認定
10. 社会医療法人財団

相澤病院概要

1. 病床数 471床
2. 平均在院日数 13.38日
3. 稼働率 96.8%
4. 診療科数 37科
5. 全職員数 1390名
 - 医師 133名
 - 看護師 573名

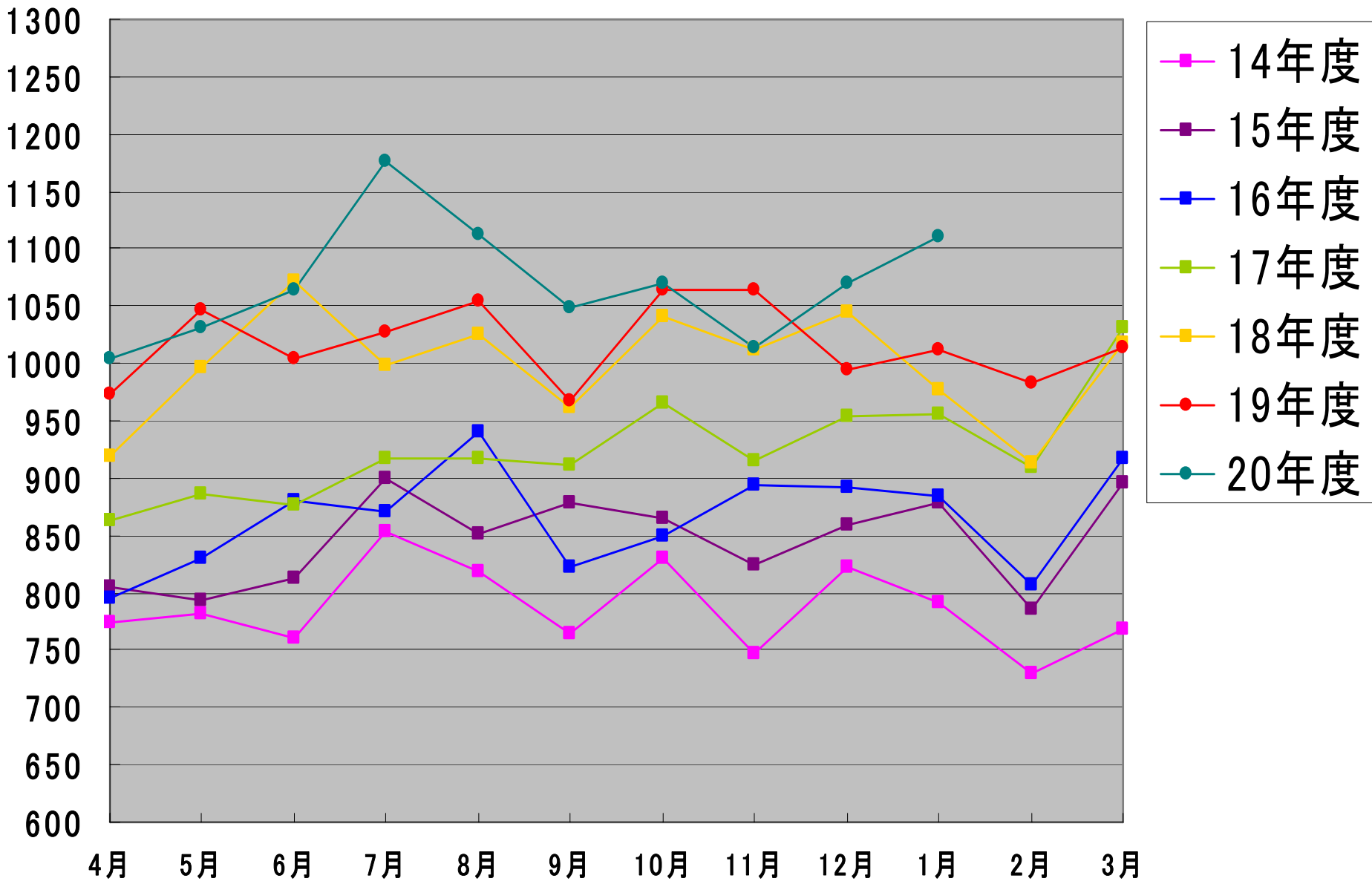
松本市圏
 松本市圏
 周本医療圏
 の本病院
 (一般病床のみ)

約22万人	
約43万人	
大学病院	660床
相澤病院	471床
A病院	82床
赤十字病院	360床
国立病院A	280床
国立病院B	303床
F病院	153床
町立病院	215床
I病院	177床
県立病院	200床



**一般病床を200床
 以上有する病院は
 7病院ある**

新入院患者の月次推移

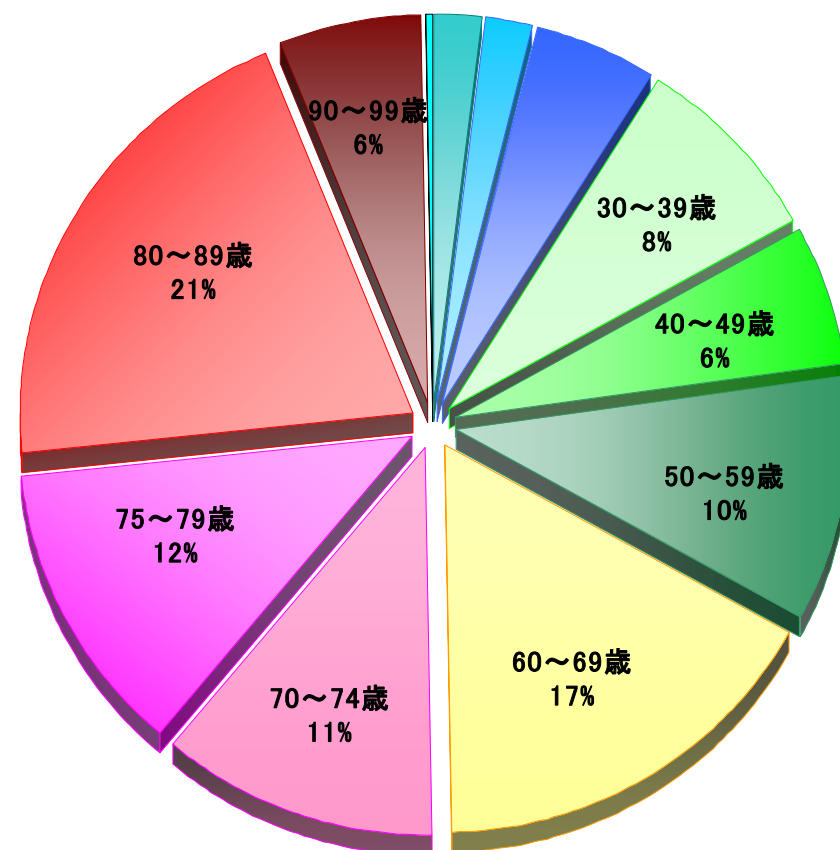


外来・退院患者数：H20.1.～H20.12.

外来患者数	246,630
退院患者数	12615

退院患者年齢構成：H20.1.～H20.12.

年代	退院患者数 合計12615	
0～9歳	261	
10～19歳	237	
20～29歳	616	
30～39歳	1,012	
40～49歳	736	
50～59歳	1,300	
60～69歳	2,116	
70～74歳	1,439	2,972
75～79歳	1,533	
80～89歳	2,598	
90～99歳	743	
100歳～	24	



MDC6桁症例数TOP20

H20.4～12

MDCコード*	傷病名	症例数
040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	753
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	423
010060	脳梗塞(JCS30以上)	27
	脳梗塞(JCS30未満)	347
060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	286
160800	股関節大腿近位骨折	261
11012x	上部尿路疾患	188
060150	虫垂炎	188
110310	腎臓または尿路の感染症	175
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	164
050130	心不全	158
060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	157
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	153
060020	胃の悪性腫瘍	146
110080	前立腺の悪性腫瘍	144
040040	肺の悪性腫瘍	124
110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	121
060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	120
060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	117
010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS30以上)	19

DPC医療機関係数 相澤病院

H20年度相澤病院医療機関係数

1.2271

調整係数

1.0551

機能評価係数

0.1720

入院時医学管理加算

0.0299

地域医療支援病院入院診療加算

0.0321

単独型臨床研修病院入院診療加算1

0.0012

診療録管理体制加算

0.0009

医師事務作業体制加算 (50 : 1)

0.0059

一般病棟入院基本料 (7 : 1入院基本料)

0.1005

医療安全対策加算

0.0015

地域医療支援病院の評価

紹介率・逆紹介率でのきめ細かな評価は可能か？

地域医療支援病院

1. 趣旨

医療施設機能の体系化の一環として、患者に身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有するものについて、都道府県知事が個別に承認している。

2. 役割

- 紹介患者に対する医療の提供(かかりつけ医等への患者の逆紹介も含む)
- 医療機器の共同利用の実施
- 救急医療の提供
- 地域の医療従事者に対する研修の実施

3. 承認要件

- 開設主体:原則として国、都道府県、市町村、特別医療法人、公的医療機関、医療法人等
- 紹介患者中心の医療を提供していること
 - ・ 紹介率80%を上回っていること(紹介率が60%以上であって、承認後2年間で当該紹介率が80%を達成することが見込まれる場合を含む。)
 - ・ 紹介率が60%を超え、かつ、逆紹介率が30%を超えること
 - ・ 紹介率が40%を超え、かつ、逆紹介率が60%を超えること
- 救急医療を提供する能力を有すること
- 建物、設備、機器等を地域の医師等が利用できる体制を確保していること
- 地域医療従事者に対する教育を行っていること
- 原則として200床以上の病床、及び地域医療支援病院としてふさわしい施設を有すること